

＜社会福祉学部社会福祉学科（心理学専攻）のアドミッションポリシー＞

〔使命と教育理念〕

「同朋和敬」の精神を建学の理念とし、本学部は1961（昭和36）年に文学部社会福祉学科として創立されて以来、この理念を礎に同朋福祉を実践してきました。1984（昭和59）年には社会福祉学部社会福祉学科となり、現在では「社会福祉専攻」「心理学専攻」「子ども学専攻」の三専攻を設けています。

心理学専攻では「心理学の専門家」となることを目指し、さらに社会貢献をも目指しています。本専攻では以下のことに意欲を持って取り組む人を求めています。

〔期待する学生像〕

1. 「同朋和敬」の精神に立脚し、心理学に関する基礎的な知識・技能を学ぶことができる人。
2. その知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探求することができる人。
3. それらの成果等を表現するために必要な思考力・判断力等の能力を身につけたいという意欲のある人。

〔高校段階での修得が望ましい教育内容〕

1. 高校までの基礎的な知識とともに読む・書く・考える等の基礎的能力を有している。
2. 心理的支援を必要とする人々の心理状態に関心があり、ともに考える姿勢・意欲をもっている。
3. 現代社会の心理的な諸課題に関心を持ち、主体的に課題解決に向けた意欲を有している。
4. 他者とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな人のことを理解し援助できる。